

事務局だより

1. 9月1日現在会員数

湘南	県央	ベイサイド	多摩・田園	計
42	30	31	31	134名 (Eグループ会員：121名)

入会 山下 純氏 (多摩・田園)

2. 運営委員会業務へのサークルスクエアの活用について

竹内委員よりサークルスクエアについて、運営委員会業務に活用できそうな機能、およびそのメリットの提案がありました。

議論の結果、(1)書類の保管、(2)グループメール (メーリングリスト)、(3)会員名簿の管理、の3つについて、導入の方向で検討を進めることになりました。具体策の検討は HP サークルが行います。

3. 次回予定

- 運営委員会 開催日時：2024年11月24日(日) 10:00~12:00 (オンライン)
議長：坂井委員、書記：高橋委員

※ オブザーバー参加を希望される会員は11月17日(日)までに増子委員までご連絡ください。

- HP サークル 開催日時：2024年11月24日(日) 15:00~17:00 (オンライン)

※ オープン参加です。参加を希望される会員は竹内委員までご連絡ください。

会員だより「季節のテーマ」執筆のご参考

事務局からのご案内です。会員だより投稿のご参考として「季節のテーマ」の一部(11月から3月)を掲載します。皆様の執筆に役立てば幸いです。

11月	文化の日、七五三、ボージョレヌーボー、勤労感謝の日など
12月	お歳暮、冬至、クリスマス、イルミネーション、忘年会、大晦日・年越しなど
1月	お正月、おせち料理・お雑煮、お年玉、七草粥、成人式、新年会など
2月	節分、バレンタインデーなど
3月	ひな祭り・桃の節句、ホワイトデー、お彼岸・春分の日、卒業など

会員だより

香川仕込みの名店『上を向いて』で楽しむ手打ちうどん

多摩・田園 竹内 純一

香川の伝統を受け継ぎ、大阪は京阪電車の香里園駅近くでその味を提供する名店『上を向いて』。2024年1月、家内と近くまで行ったので、ランチに利用した。

12時半頃に着くと、先客が6人ほど列を作っていた。私たちも早速順番待ちに加わった。寒中の冷え込みは晴れていても肌を刺すようだった。



外で待つこと約30分、カウンター席に案内された。店内は明るい印象で、時折、手打ちうどんを切る音がリズムカルに響く。すっかり冷え切っていたので、温かい「かけうどん」に「きつね」と「野菜かきあげ」のトッピングを頼んだ。

席には「当店のこだわり」と記された案内があり、「香川県産小麦『さぬきの夢』を100%使用。」うどんは生きもの“をモットーに「打ちたて切りたて湯がきたて」の新鮮なうどんのみを提供しております。」とあった。湯がいてから15分以上経

ったうどんは出さないそうだ。さらに「道南産真昆布、瀬戸内海産のいりこ、サバとウルメの節を使用し、朝一からお出汁をとっております。店主の地元である長崎県島原市の甘めの醤油を使用しております。コク深い中でも旨味あふれるすっきりとした口当たりをお楽しみください。」と続く。

提供されたうどんを前にして、最初に感じたのは出汁の香り。ひと口すすする。味が豊かで深い。生臭さは一切なく、丁寧に調理されたことがわかる。そこに甘口の醤油がふわりと香る。うどんには、しっかりしたコシがある。外はつるつる、のど越しも抜群。店主が修業した香川のエッセンスが、うどんの一一口に感じられる。

説明書きに「かしわ天」が名物と書かれていたので、うどんが提供されてからではあったが、遠慮がちに頼んでみた。店主は、片時も調理の手を休めないまま「ちょっと時間がかかるかもしれません」との返事。実際は言われたほどでもなく出てきた。宮崎県産の若鶏を塩胡椒で味付けした「かしわ天」はサクッと軽い「むね」とふっくらジューシーな「もも」がセット。無理をお願いした甲斐があった。

『上を向いて』は「食べログ」の評価が3.90、さらに2024年の「百名店」に選ばれている。評価が3.5を超えたらウマイと言われる中で4.0近い数字である。普段はネットの評価に左右されない私も、この店の評判に惹かれ、訪れてみることにしたのだ。

香里園の名店『上を向いて』。私は、もう一度足を運ぶことを心に決めた、この味に出会えたことに感謝して。



農園日記—秋野菜の植付け—

なんだ、これは！

9月4日（水）の朝 Nさんと1号畑に立寄った時でした。畑に石ころが沢山ころがっています。迷走した台風10号が大雨を降らせ、畑の土を洗い流してしまったのです。

1号畑は2022年に代替地として与えられた土地で、元々農地として使われていなかったもので、まだ石ころが残っていたのです。根菜は根を伸ばすとき、石などの障害物に突き当たると二股の大根や人参になってしまうのです。そのため石を根気よく取り除かなければなりません。その日は予定された作業があったので、9月7日（土）に臨時の農園を開き、参加者7名で「石拾い」をしました。初秋とはいえ、日照りが強く、とても暑い日でしたが秋野菜のためのマルチ掛けの畝も3畝作りました。あまりに暑いのでこの日は11時頃には作業をやめて引き上げました。



9月11日（水）晴 今日12名の参加者が「秋野菜の植付け」をしました。「畝」を7畝作り、10畝の畑に苗を植えます。植えた苗は永田農園から購入した白菜120本・キャベツ130本・カリフラワー49本・ブロッコリー61本でした。作業は「流れ作業」的に手際よく行いました。作業は①マルチの穴に苗が入るよう土を掘る。②掘った穴に農薬ダイアジンをつまみ入れる。③ポリポットから苗を出し掘った穴へ入れ土を寄せて定着させる。④水やりをする。の順番で行います。

私たちは作業を始めて1時間後に必ず一斉に「休憩」をとります。夏場にはゴーヤで覆ったトンネル状の仮小屋で「涼」をとります。体力には個人差があります。熱中症にならぬよう注意しており、決められた「休憩時間」外でも臨機応変、個人的に休憩して貰うことにしております。

9月14日（土）は、残った苗の「植付け」と害獣対策のための「落花生の寒冷紗掛け」を行いました。



以上、いつも楽しい「じゃお農園」でした。

（湘南 島村 忠男 記・写真）

カラオケサロン大盛況

お彼岸も近いのに夏日、汗をぬぐいながら歌うことの好きな連中が集まりました。お暑うございます。

9月19日、「健康カラオケサロン」の月例会。今回の参加者はベイサイド6名、多摩・田園3名、ベイサイドサポーター（女性）3名です。

会場は飲み物、おつまみ持ち込み自由、フリータイムワンドリンク付です。まずはビールを注文。仕込んできた日本酒、焼酎、ワイン、ウイスキー、手巻き寿司、チーズなどテーブルにドカーンと並べて、健康を祝して乾杯!!



美声のために喉を潤さなきゃね。昼のお酒は効くねえ。喉のためとは言え、お酒に酔いしれないうちに、そろそろ歌に酔いしれましょうよ。

順番は時計回りでスタートです。おお、昭和歌謡です。お年が知れますがやっぱりいいですねえ。一緒に口ずさみ手拍子も出ます。ステージに上がって歌う人、盛り上がってきました。

今日歌う曲をメモしてくる人、この場の雰囲気を選ぶ人、それぞれ自分に合った曲を歌っています。曲によってはバーチャルで女性とのデュエット曲が

ありますが、ベイサイドでは生でサポーターと歌えますよ。調子に乗って肩など抱かないようにね。

ボトルも空いて宴会気分になったかも。一巡するのに一時間ほどかかったので歌い足りなかったかもしれませんが、大いに盛り上がりました。

歌うこと、声を出すこと身体に良い事です。気分も幸せになります。歌いましょう。

サークル名も「健幸カラオケサロン」に改称しましょうかな。



(ベイサイド 率川 清昭 記・多摩・田園 竹内 純一 写真)